

頑張れ店長

コロナ対策に全力

日本中でコロナ対策が中心課題になつてゐる中で、パチンコホールは、パチンコバッシングを含めて、かつてないほどの危機に直面しています。当面でくる対策はすべてやる、全力を尽くすばかりません。各地の店長さんの奮闘ぶりを伝えます。（※3月中に取材したもののが一部含まれています）

アルコール消毒の徹底

「うちの店ではアルコール消毒の徹底を心掛けています。全ての出入口にアルコール消毒液を設置しています。普段する際の接触感染が無いように、自動で消毒液が出てくるタイプの物です。またアルコール付近の清掃を行つたり、お客様に来店時の消毒を促す声掛けしたりするために清掃専用のスタッフを増員しました。スタッフのマスク着用は勿論、数人にはアルコールボトルを携帯させました。

これにより、お客様が遊技を止めたタイミングや、空き台の清掃時に、こまめにアルコール消毒が可能になりました。特にハンドルや上皿といった、お客様が手を触れる場所は、徹底的にアルコールを吹きかけ付近の清掃をし、次に座るお客様への安心と安全を提供出来るよう心掛けています」（九州・A店長）

ウイルス感染は手を媒介して目や鼻、口へと入つていくそうです。触る部分の消毒は理にかなつているようです。

1台置きに電源カット

「うちでは、なるべく『3密』の状態を作らないための取り組みを行っています。ニュースなどで問題視されていた朝の抽選時の行列ですが、並ぶ人には必ずマスクを着用することとし、ソーシャルディスタンスを保つようお願いしました。

従業員にも最大限配慮

「うちでは、なるべく『3密』の状態を作らないための取り組みを行っています。ニュースなどで問題視されていた朝の抽選時の行列ですが、並ぶ人には必ずマスクを着用することとし、ソーシャルディスタンスを保つようお願いしました。まず毎朝の検

これにより、お客様が遊技を止めたタイミングや、空き台の清掃時に、こまめにアルコール消毒が可能になりました。特にハンドルや上皿といった、お客様が手を触れる場所は、徹底的にアルコールを吹きかけ付近の清掃をし、次に座るお客様への安心と安全を提供出来るよう心掛けています」（九州・A店長）

ウイルス感染は手を媒介して目や鼻、口へと入つていくそうです。触る部分の消毒は理にかなつているようです。お客様もそうですが、我々もやりすぎることはないと思い、徹底してやっています」

（関東・B店長）

ホテル営業を通して密集・密接しないようにする、と決意を述べていました。

店長からのお祝い

休業要請中で

も営業している店舗がニュースに晒

されています。複数の県で朝から並んでいる遊技客と開いている店を報道し、社会からバッシングを受けています。どの

ニュースを見ても、主語は「パチンコ店」「パチンコ業界」…。

ほとんどの店舗は苦しくても休業しています。知人の会社は倒産し、知人は無職になってしまいました。そこまで苦しい思いをしながら、まだ全体として悪者に扱われるのが情けないやら腹立たしいやら。

できれば主語を「未だ営業しているパチンコ店●●」と報道して欲しいです。我々とは分けて欲しいです。同じ業に携わっていると思いたくないです。（関東・F店長）

した。マスクの着用がない場合には抽選の列に並ぶことをお断りするよう徹底しました。さらに、店舗内では隣同士の距離を開けるため1台置きに電源を落とし、間隔を空けて遊んでもらうようにしています。また台間（分煙）ボードはスライド式なのですが、飛沫感染への対策方法として、ボードは必ず出した状態での遊技をお願いしています。さらにお客様からの希望があれば、ボードを含めた遊技台の清掃を行っています。お客様もそうです。お客様もそうですが、我々もやりすぎることはないと思い、徹底してやっています」

スタッフ間の距離を出勤するよう出勤時間の調整もしました。ロッカー室は狭く、ロッカー室での密接、密集を防ぐ為に、一時間毎にスタッフ数人ずつが出勤するよう出勤時間の調整もしました。ロッカー室は狭く、スタッフ間の距離を出勤するよう出勤時間の調整もしました。ロッカー室は狭く、

も近くなるので、常時換気扇を回し、換気に気をつけています。また、体調不良のスタッフは無理して出勤しないように、ガイドラインを作り、出勤するべきか否か迷った場合は、必ず店舗責任者に電話で相談するように呼びかけています」（関東・C店長）

スタッフの健康管理は通常時からやつておくべきことですが、日頃はついつい他のスタッフの迷惑を考えてみんな頑張ってしまいますが。そういう毎年インフルエンザに罹患しているスタッフが複数いたことを思い出しました。反省しています」と言つていました。

苦学生のバイトに温情

「うちは休業対象エリアになり、店舗を休むことになりました。急な休業となつたことから、私は店舗のことで頭がいっぱいだつたのですが、オーナーから『苦学生もいるだろう。まずはアルバイトの面接をし、生活状況を聞いてくれ』とのことだったので、店舗は副店長に任せ、自分はアルバイト全員を面接し、現況と今後の状況を伝えるとともに今後の給料等の件について話しました。すると、駐車場を使い、近所の飲食店の弁

家賃や生活費を自分で払つている苦学生で、『給料がないと生活できない』というスタッフが数名いました。オーナーに相談すると『その数人は今まで通り出勤してもらいたいなさい』と言うのです。そこで休業中にも出勤してもらい、我々と一緒に清掃をしたり、ディスカッションに参加させたりしています。今回のオーナーの決断により、スタッフは会社への恩義と同時に帰属意識が高まつたようで良かったです。通常であれば来年3月に大学卒業する1人のアルバイトは『スタッフのことをここまで思ってくれるこの会社が好きです。このまま社員になりたいです』と言つてくれました。こちらこそ願つたり叶つたりです」（近畿・D店長）

日遊協で検索！

日遊協
ホームページ
更新情報

当をドライブスルー形式で販売しているという情報を見つけました。そこで、スタッフに『当社でもなかに出来ないか』と話し合いました。すると『今みんな外に出ないから献血が足らないと聞きます。うちで献血ができるでしようか』と提案がありました。赤十字社に連絡すると『献血量が足らず困っている。ぜひ協力を願いしたい』という要望を頂きました。そこで駐車場を使い、みんなで献血しようという話になりました。不要不急の外出を控えることで必

要な血液が足らないのであれば、せめて外出時にでも献血をしてもらいたい。そのことをうちの活動を通して、少しでも世間に知つてもらいうことができれば良いと思つています」（九州・E店長）

協力休業も一つの社会貢献ですが、その上にさらなる善行。スタッフの素晴らしい提案でした。マジックなどでは、いまやパチンコ・悪の巣窟というような誤解が広がっています。ホールの正しい姿が、地域社会を通じて伝わっていくことを、切に祈りたいですね。